

# 2015年度 法科大学院 第2期既修者入学試験問題

## 1 時限

## 憲法

### (論文式)

## 試験時間 60 分

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## [憲法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

20XX年、A県B市の市街において行われた原子力発電所再稼働反対のデモ行進に際し、B市公安条例に基づく許可条件に違反するだ行進が行われたため、違反行為がないか監視していた警察官Cが、当該デモ隊の行進状況を写真によって撮影した。これに対して、デモ行進を先導していて撮影の対象となったYが抗議したところ、Cがこれを無視したため、Yは、Cのあごを旗竿で突くなどの行為を行い、公務執行妨害罪と傷害罪により起訴されることとなった。

### 設 問

あなたがYの弁護人であるとして、本件刑事事件について、どのような憲法上の主張を行うか、述べなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)